

クリッカーを使った 教養教育

豊橋創造大学短期大学部

講師 伊藤圭一



豊橋創造大学
豊橋創造大学短期大学部

沿革

昭和58年4月1日 豊橋短期大学開学

(幼児教育科・秘書科)

平成8年4月1日 豊橋創造大学開学

豊橋創造大学短期大学部に名称変更

平成10年4月1日 豊橋創造大学短期大学部

秘書科を同実務教育科に名称変更

平成17年4月1日 豊橋創造大学短期大学部

キャリアプランニング科開設

(公務員・ビジネス・医療事務・調理師の4コースを設置している)



豊橋創造大学
豊橋創造大学短期大学部

教養教育・教養試験対策

キャリアプランニング科（女子のみの学科）

幼児教育・保育科（男女共学の学科）

教養教育はキャリアプランニング科教員が両学科
共通に行う科目も多く存在しています。

キャリアプランニング科では

入学準備学習・教養試験対策などの内製化を実施
している。

高校時代に諦めても 短大でまた取り返す

開始してから4年目で
幼児教育・保育科
キャリアプランニング科

公務員試験1次試験合格者増
筆記試験の難しい大手企業に内定も増
といった成果をあげている。

勉強を諦めない姿勢が身に付き始めた

単なる試験対策では
内定はおぼつかない

教養試験の対策をしながら
社会人基礎力の育成にも力を注いでいます



教養試験対策にも
アクティブラーニングを導入



小さなところからコミュニケーション力を
身につける努力をしよう！



効率よく勉強しているという実感の中で
アクティブラーニングも経験させたい・・・

①課題提出システムの利用

②e-learning教材の事前学習への導入

個人的な学習は学外で行い、アクティブラーニングを講義内で行えるように仕掛けを行ってきました。

一方的な講義＝一方的なコミュニケーション
この関係を打破することに心掛けてきました



豊橋創造大学
豊橋創造大学短期大学部

これまでの取り組み

①課題提出システムの利用

問題作成を自宅で行う

課題提出システムで提出

→出来上がった問題を討議する

②e-learning教材の事前学習への導入

e-learning教材で事前学習

→理解促進テストで結果を討議する

①は1年生春学期 ②は1年生の秋以降



豊橋創造大学
豊橋創造大学短期大学部

討議をすること

討議は

①では優れた問題を1つ残す

②では正答と思われる解答を1つ残す

という仕掛けをしています

コミュニケーション力を身につける一助として

他者を認めたり

自分の意見を主張する訓練になります



豊橋創造大学

豊橋創造大学短期大学部

もっと討議を多くするために クリッカーを導入

クリッカーとは

授業で学生が応答用に用いるリモコンのことである。クリックするものであることから通称 “ クリッカー ” と呼ばれている。



参考画面

〔No. 5〕裁判官の指名・任命に関する文中の空欄A～Dに入る語句の組合せとして正しいものは、次のうちどれか。

最高裁判所の長たる裁判官は、(A)の指名に基づいて、(B)し、その他の裁判官は、内閣が任命する。下級裁判所の裁判官は(C)の指名した名簿より、(D)が任命する。

00:15

	A	B	C	D
1	国家	内閣総理大臣	法務大臣	内閣
2	国会	天皇	法務大臣	最高裁判所
3	内閣	天皇	最高裁判所長官	国会
4	内閣	天皇	最高裁判所	内閣
5	国家	内閣総理大臣	天皇	最高裁判所長官

キーボード数:0

投票数:0



豊橋創造大学
豊橋創造大学短期大学部

クリッカーの特徴を活かして

①問題をたくさん解く

②討議をする機会も増える

解答→討議のサイクルが速くなる

能動的学修は時間がかかるという指摘

(進むスピードが遅い)

と言う欠点をカバーしようと考えた



豊橋創造大学
豊橋創造大学短期大学部

①慣れる

〈ステップ1〉

- ①問題を提示する
- ②解答する
- ③解答の分布を確認し正答を確認する
- ④誤選択についての解説を行う

以上を繰り返す

②想像をめぐらす

〈ステップ2〉

- ①問題を提示する
- ②解答する
- ③解答の分布を確認する
- ④自分と異なる解答を選んだ者の選んだ理由を推測する
- ⑤教員から解説をする

③ディスカッションする

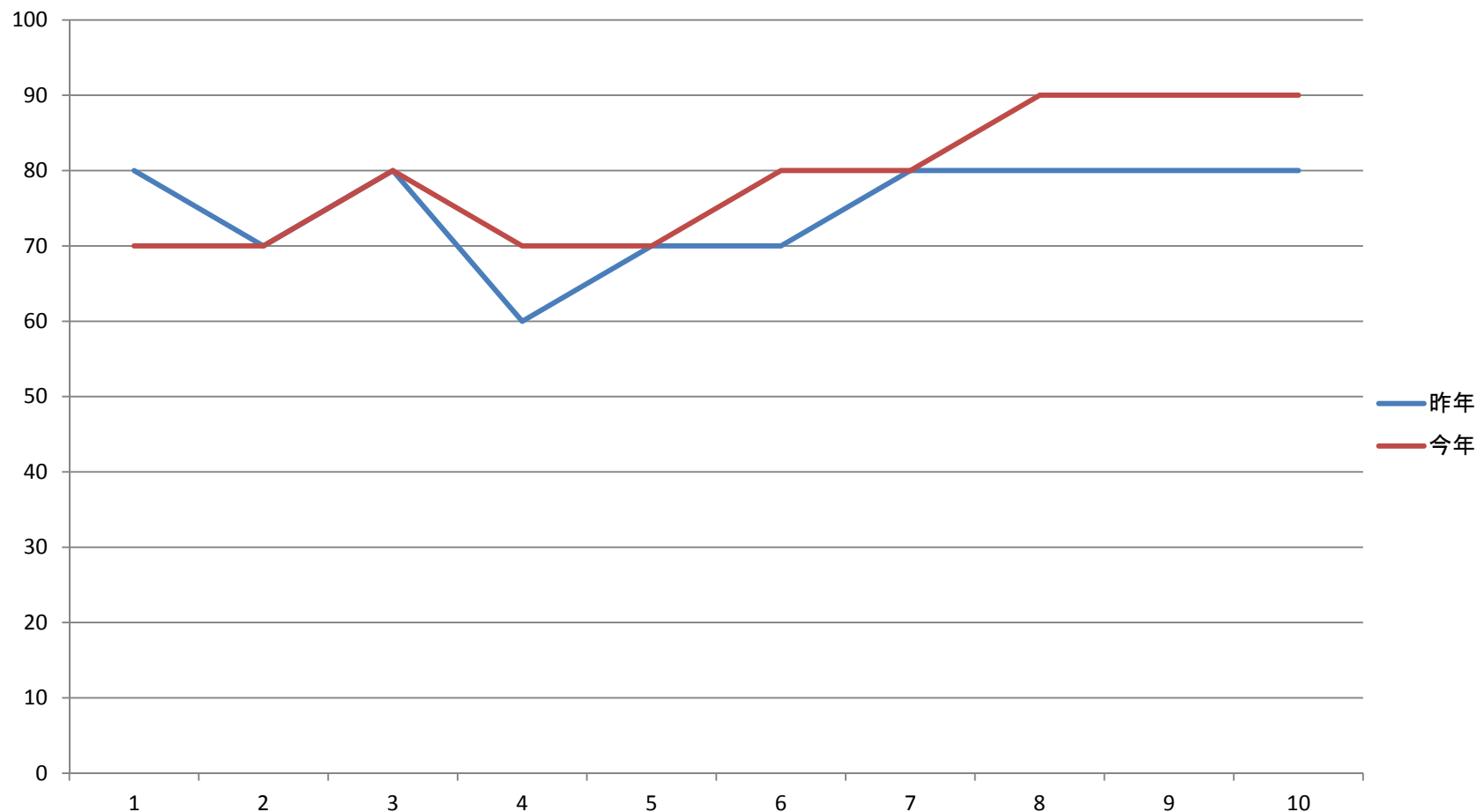
- ①6人程度のグループを組む
- ②クリッカーをグループに1つ渡す
- ③問題を提示する
- ④個々で問題に取り組む
- ⑤グループで解答をまとめる
- ⑥1つ、まとまった答えをクリッカーで解答する
- ⑦教員から解説を行う

学生たちの反応 (無記名式のアンケート)

「他の人の意見がわかって興味深かった」
「挙手で回答しづらい内容も回答できた」
「双方向的で楽しかった」

「他の人の意見がわかって興味深かった」という声がとても多かった。他の人の意見がわかることは学生にとっても有益なことであることがわかった。他の人の意見に興味を持つことから学習への興味も持てるようになってきたと考えられる。

学生の正答率少し向上しています 昨年度と同じまとめのテスト10回分の平均点



豊橋創造大学
豊橋創造大学短期大学部

意外な成果とこれからの展望

【意外な成果】

直ぐに正答率だけではなく、個人の誤答正答が瞬時に分かるので無駄な解説の必要が無くなった。その時間を誤答の多い問題の解説に回すことができ、結果、必要な解説が増えた。

【これからの課題】

クリッカーを用いた講義の準備は問題の準備など通常の講義よりも準備することに時間がかかる。個人で準備するのではなく組織として教材を準備するサポートが必要になると考えられる。



ご清聴ありがとうございました